

ちいきそうぞう



第8号

2012.12.21

主な内容

就任のごあいさつ	理事長 植木 昭一… 1	NPOの支援に感謝! 「にいがた道の研究会」…… 4
『いま、私たちに求められていること』		10周年記念祝賀会のお知らせ …… 4
新潟県土木部技監 斉木 勝… 2		清流で水遊び「万内川砂防公園サマーフェスティバル実行委員会」… 5
退任にあたって 前理事長 島原 利昭… 2		「地域懇談会 in 村上」活動報告 …… 5
NPO法人にいがた地域創造センターと		活動状況報告…………… 6
連携した災害復旧工法検討会		河川情報モニター実施報告及び
十日町地域整備部部長 藤塚 惣一… 3		都市公園情報モニター実施報告…………… 7



就任のごあいさつ

理事長 植木 昭一

長くて暑かった夏から、紅葉を見る間もなく冬本番を感じられる季節になりました。
会員の皆様には、日頃から当法人の運営にご協力いただき御礼申し上げます。

さて、私こと このたびの理事会におきまして、島原理事長の後任として理事長に選任されました。
非才の身には大変に重く感じられる大任ですが、精一杯その任に当たる覚悟でございますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

昨年の「東日本大震災」による巨大津波や福島原発事故からまもなく2年を経過しようとしておりますが、
今でも30万人以上の方々が避難されそれぞれの地で不自由な生活を強いられております。

巨大津波や原発事故の前では為す術の無さを思い知らされ、また一方で必死に被災地を復旧・復興しようと取り組んでいる方々の姿を見聞きするたびに、日頃忘れかけていた「人同士のつながり」や「人間の強さ」
に一種の安堵とともに勇気をもらっています。

ところで、当法人は平成15年10月24日の設立から、今期で10年を迎えようとしております。この間、
定款の目的である「…まちづくり、環境保全、災害救援、社会資本施設の維持・保全に関する事業等を行う
ことにより、地域活性化に寄与する…」の趣旨に沿い、毎年「県都市緑花フェアでの植樹寄贈・植樹作業」
や「県河川情報モニター」、「県都市公園モニター」等の業務を、多くの会員の皆様の協力により実施してま
いりました。また、平成16年の「7.13水害」、や「中越地震」以降今日まで県内の大規模な災害発生時に
は公共土木施設の被災調査等を行い、その都度知事から「感謝状」をいただいております。

それから、今年3月には当法人で「地域懇談会in村上」を初めて企画し、村上地域の賛助会員や県地域振
興局等の方々からご出席いただいて開催することが出来ました。地域活性化の一助になればとの強い思いか
ら、この懇談会は今後も引き続き県内各地域で開催出来ればと考えております。

また、これら幅の広がってきた活動の中で、「必要なインフラの整備促進」を社会に発信することも、これ
からの当法人の重要な課題と考え、今後積極的に取り組んでまいり所存であります。

最後になりますが、当法人のこれからの運営・活動には、県ご当局からのますますのご支援や活用はもと
より、会員及び賛助会員の皆様から、「ふるさと・新潟」の活性化のために一層のご支援・ご協力をいただく
ことが必要であり、またこれに支えられている法人でもあります。

どうか皆様には、今後ともよろしくお願い申し上げます就任のご挨拶といたします。



『いま、私たちに求められていること』

新潟県土木部技監 齊木 勝

特定非営利活動法人にいがた地域創造センターの皆様におかれましては、日頃から本県の土木行政の推進に御支援、御協力を賜り感謝申し上げます。

本県は昨年の「新潟・福島豪雨」をはじめ、近年多くの災害に見舞われていますが、災害発生直後から、多くの関係団体の方々からご協力をいただいております。大変感謝しております。現在土木部では災害時および防災業務の応援に関して、合計30の団体と応援協定を結び、発生災害の特徴に応じて迅速・機動的に現地活動を実施しています。貴NPO法人も協定締結団体の一つですが、今年度、新たに申し合わせ事項を確認し、応援業務の具体的事項を定めたことで、さらなる連携強化が図れるものと大いに期待しております。

建設産業を取り巻く環境は依然厳しく、様々な課題に対して、限られた人材でスピーディーに対応していかななくてはならない状況におかれています。これまで以上に関係団体の皆様と力を合わせ、県民の期待に応えていかなければならないと自らを鼓舞しているところです。厳しい環境にあるからこそ、今一度、私たちの使命を振り返り、住民も企業も行政も各々がWIN-WINの関係を築く「三方良し」の未来を目指していきたいと考えています。また、それと同時に、地域を支える建設産業の地道な活動を、県民の皆様に正しく理解していただけるような広報にも注力し、夢と誇りを次代に繋げていくことが必要であると考えています。



退任にあたって

前理事長 島原 利昭

夏の猛暑が9月に入っても収まらず、いささかうんざりしていたのも束の間、秋はたちまち深まり街路樹は葉を落として雪を待つみの季節となりました。皆様お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年も会員の皆様には当センターの運営につきまして多くの御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成22年度から2ヶ年間、藤原理事長の後任としてセンターの運営に携わってまいりましたが、この間にも想像を絶する東日本大震災や新潟福島豪雨等大規模な災害に見舞われました。これら多くの災害現場からセンターへ支援要請が寄せられましたが、私たち会員の社会的立場や年齢、家庭の事情等を考慮すると残念ではありましたがその多くをご辞退せざるを得ませんでした。

一方で、今年度初めての企画として村上市において「地域懇談会」を開き、村上地域整備部の皆さんをはじめ会員、賛助会員、一般の人たち約50名の参加を頂き、まちづくりや歴史、文化に亘り意見交換することができ、今後のセンター活動のひとつの方向として貴重な経験をしたと考えております。

早いもので来年度はセンター設立10周年を迎えます。会員皆様の更なる御支援、御協力を頂きながらセンターが今後益々発展することを祈念して退任のあいさつと致します。



NPO法人にいがた地域創造センターと 連携した災害復旧工法検討会

十日町地域整備部部長 藤塚 惣一

十日町地域整備部管内は昨年3月の長野県北部地震、7月の新潟・福島豪雨、そして9月の台風12号により大きな被害を受け、道路災・河川災・砂防災の合計590件もの災害査定を申請しました。数多くの災害箇所の査定を短期間で完了するため、国との協議により査定の簡素化と机上中心の査定を行うとともに、他地域からの多くの応援をいただき、12月に行われた第14次査定までに何とか終わらせることができました。

しかし、いくつかの課題・反省点が残りました。それは、起点終点の考え方が統一されていないこと、被災原因および適切な復旧工法の説明がうまくできない等、基本的なことでした。

今年9月30日～10月1日に台風17号による河川災害が発生し（申請16件）、この生きた題材を基にして、NPO法人にいがた地域創造センターから県土木部OBを招き、10月30日に災害復旧工法の検討会を行いました。

災害の経験豊かなOB2名を講師に、十日町地域整備部の若手技師8名と、災害時に応援業務を行う建設技術センターの技術者3名の参加で行いました。

被災現場にて、災害申請者が被災状況・被災原因・被災水位の説明をまず行い、参加者全員で意見を出し合い、講師からアドバイスをもらう方法で検討会を行いました。12月5日～6日の実地査定現場であるので臨場感があり、参加者の真剣な態度が見られました。災害査定準備はいつも時間に追われ、じっくりと検討・議論する余裕はありませんが、今回の検討会では、災害復旧に関する的確な考え方と豊富な経験を持った講師の方々から、申請前の準備や申請時の説明テクニック等を伝授していただき有意義な検討会となりました。

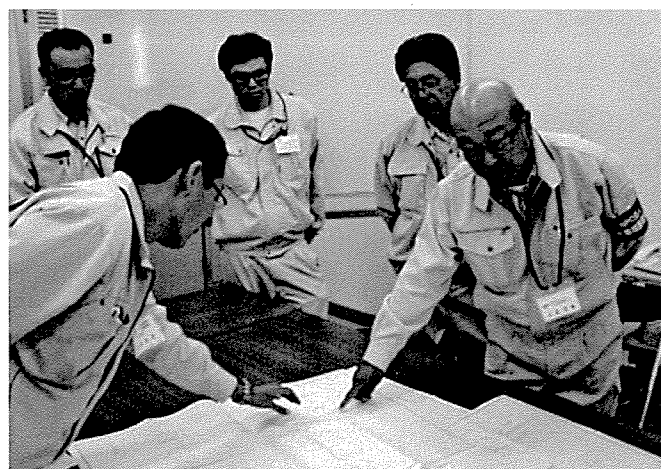
今後ともさまざまな技術の伝承など、貴NPO法人と連携しながら災害時の早期復旧に取り組んでいきたいと考えていますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



担当者による被災説明



検討会の状況



講師によるアドバイス

NPOの支援に感謝！

「にいがた道の研究会」会長 小野塚 眞一

「にいがた道の研究会」では、昨年度（H23）から、NPO法人にいがた地域創造センターから補助金を頂き、講演会などの活動費の一部として、ありがたく使わせて頂いております。

「みち研」は、『新潟の道、街並等に関心を持ち、その文化や歴史を探り、またその整備、管理を支援する事により社会に寄与する。』事を目的に、平成16年に設立されました。以来、毎年の総会と、併せて、「トーク会」を開催し、これまでに10回開催し、17名の講師にご登壇を頂きましたが、大学教授、新聞記者、書店社長、図書館長、歴史家、国・県・新潟市の道路関係者などなど多士済々の皆様方から、「道」にちなむタイムリーなお話を聞かせて頂きました。

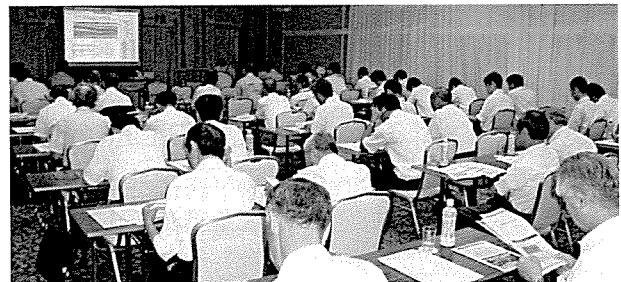
ボランティア活動では、「美しい越の道づくり事業」と称して、ささやかではありますが、道路脇の空地に花を植える活動を続けております。その活動が評価され、平成20年には、「新潟国道事務所長表彰」を、平成23年には、「北陸地方整備局長表彰」を頂いてしまいまして、今更、やめる訳にもいかず、次は、「国土交通大臣表彰」か？ などと言いながら、皆で、いい汗を流しております。

この他、歴史ある街道、旧道、古道などをウォーキングしながら、歴史・文化を老体全身で感じる旅もやっています。現在、91名の会員がおりますが、入会はいつでもOKですので、興味のある方は、どうぞ、お待ちしております。

最後に、NPO法人にいがた地域創造センターの益々のご活躍をご期待申し上げて、御礼のご報告と致します。



植樹作業



トーク会

10周年記念祝賀会のお知らせ

企画部

NPO法人にいがた地域創造センターはこれまで平成16年「7.13豪雨災害」、同年「10.23中越大震災」、平成19年「7.16中越沖地震」などの被災調査や災害査定準備の支援、平成18年度からの「河川情報モニター」の受託、平成22年度からの「都市公園情報モニター」の試行などの行政支援に取り組んできました。

平成15年設立以来10年を迎え、会員の皆様の思い出や当センターを支えて頂いた行政の皆様と懇談し、これからの更なる行政支援や地域貢献活動などを語らう記念祝賀会を開催します。

記

日時	平成25年6月21日（金）15時～19時30分
会場	ホテル日航新潟 4F「朱鷺」 新潟市中央区万代島5-1
概要	第1部 講演会 (15:00～16:30)
	第2部 祝賀会 (17:00～19:30)

清流で水遊び

万内川砂防公園サマーフェスティバル

実行委員長 丸山 義貞

第9回万内川砂防公園サマーフェスティバルが8月11日（土）に開催されました。

上越地区の2つのNPO（地域創造・砂防ボランティア）が協働で地域や行政等と連携して、会場の美化作業やパネル展の説明者、本番のスタッフと支援・協力しました。

毎回心配されます天候にも恵まれ、当日は約1,500名と多数の皆様に参加をいただき大いに盛り上がりました。暑い中、大勢の会員の皆さんお疲れ様でした。会員の協働力や創作力が大いに発揮され、頼もしい限りでした。

今後も地域の活性化に役立つ活動をしていきます。

当フェスティバルの実行にあたり、貴センターからの支援に感謝すると共に、今後もしばらくご支援を宜しくお願いします。



草刈りの美化作業



ゴム鉄砲で的あて遊び

主催：万内川砂防公園サマーフェスティバル実行委員会

「地域懇談会 in 村上」活動報告

業 務 部

NPO法人・にいがた地域創造センターの紹介と正会員・賛助会員、その他個人や法人の方々と意見交換し、地域整備部と参加者の橋渡しの役目を果たせたら……との思いから、平成24年3月1日（木）に当センターとして初めての試みである「地域懇談会in村上」を開催しました。

村上地域整備部から5名の皆様、島原理事長以下12名の正会員、村上地区以外を含む12社14名の賛助会員、更には一般参加10社の総勢41名で盛大に開催されました。

最初に、島原利昭理事長から、センターの設立趣旨や活動事例などを紹介、続いて「米沢街道を地域資源とした関川村の街づくり」と題して米野紀男正会員から地域での活動事例の報告が行われました。最後に村上地域整備部の大野昇部長から地域振興策や公共事業について特別講演をしていただきました。

その後の懇親会では、普段なかなか話す機会の少ない参加者どおしで更なる意見交換を行うことができました。地域懇談会を企画した思いが少しは報われたように感じました。

後日、一般参加の内3社の皆さまから賛助会員として入会して頂きました。ありがとうございました。

地元の正会員、賛助会員、参加して頂いた一般会員の皆様にあらためて御礼申し上げます。



活動状況報告

(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

■平成23年

11月28日 第27回理事・監事会議

- (新潟県建設技術センター3階研修室)
- ・平成23年度の総会について
 - ・平成22年度単年度収支について
 - ・NPOの補助事業について
 - ・名入りタオルについて
 - ・工事用アルバム表紙の在庫処分について

島原理事長以下19名(21名中)

12月16日 第28回理事・監事会

- (新潟東映ホテル3F会議室)
- ・平成23年度の総会について
 - ・名入りタオルのレイアウトについて
- 島原理事長以下20名(21名中)

平成23年度通常総会

- (新潟東映ホテル朱鷺の間)
- ・平成22年度事業報告及び収支決算の承認について
 - ・平成23年度事業計画及び収支予算(案)について
 - ・その他(河川情報モニター・受託事業等)

正会員292名中出席者109名

委任状提出者129名

講演会及び懇親会

- (新潟東映ホテル朱鷺の間)
- ・講師 平野土木部技監
…演題:「最近の土木行政について」
 - ・講師 伊東祐之氏
…演題:「江戸時代の湊町 新潟町」
- 来賓27名 正会員91名
賛助会員60名

■平成24年

2月15日 河川情報モニター担当者会議

山岸業務部長 他17名

2月16日 第29回理事・監事会議

- (駅南貸会議室KENTO)
- ・村上地区の懇談会について
 - ・当センター「10周年記念事業実行委員会」の立ち上げについて
 - ・タオルのお披露目
- 島原理事長以下19名(21名中)

3月1日 地域懇談会 IN 村上

- (村上建設業協会・石田屋)
- 講演会 講師 村上地域整備部長 大野 昇 様
// 正会員 米野紀男 様
- 来賓5名 一般参加者11名
賛助会員14名
正会員 島原理事長以下12名

4月30日 第25回新潟県都市緑花フェア

(新潟県スポーツ公園)

植木副理事長 他 広報部



5月10日 第30回理事・監事会議

- (新潟県建設技術センター3階研修室)
- ・特定非営利活動促進法の改正に伴う諸手続きについて
 - ・全建特別正会員部との受託契約について
 - ・新潟県土木部標準設計図集の販売停止について
 - ・防災業務に関する申し合わせについて
 - ・今年度末に予定される役員改選について

島原理事長以下17名(21名中)

6月22日 新潟・福島豪雨災害をはじめとする災害の復興支援に対する感謝状贈呈式

(新潟県自治会館)

植木副理事長



7月16日 新潟県中越沖地震5周年合同追悼式

(柏崎市文化会館アルフォーレ)

植木副理事長

7月18日 公共土木施設等の被災状況調査業務委託

(新潟県佐渡地域整備部)

佐々木会員他3名

7月19日 にいがた道の研究会第10回トーク会

(新潟会館)

[支援事業] 参加者69名

8月11日 万内川砂防公園サマーフェスティバル

(妙高市万内川砂防公園)

[支援事業] 参加者1,500名

9月～11月 「県立植物園の新しい楽しみ方を考える」ワークショップ参加

伊藤理事、藤原会員

10月10日 第31回理事・監事会議

- (新潟県建設技術センター3階研修室)
- ・平成24年度総会について
 - ・当センター「10周年記念事業」について
 - ・役員の改選について
 - ・現在の会員数について
- 島原理事長以下18名(21名中)

河川情報モニター実施報告

業 務 部

河川情報モニター活動も7年目となりました。平成24年は、146名（延べ481名）の会員の皆さまのご協力により、県職員が行う通常巡視の補完業務として4～9月で4回程度、128河川の巡視を無事行うことができました。ありがとうございました。

しかし、会員の高齢化・会員数の不足等、地域により大きくバランスを欠いている現状で、今後の活動にも影響が出てきております。会員の皆さまにおかれましては、地域を越えたご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

■平成24年（4月～9月）河川情報モニター活動状況

地域機関名	地域担当者		巡視河川数	巡視河川延長 (km)	NPO 配置人員	NPO実施回数 延人数
	主 任	副 任				
村 上	佐藤 靖	米野 紀男	9	12.5	5	12
新 発 田	竹内 隆良	森田 幸作	1	14.0	9	35
新 津	桑原 始	伊藤 靖	22	90.3	24	76
津 川	佐藤 起一	井上 敏雄	10	20.0	3	9
新 潟	中俣 孝	宇留間廣久	5	17.0	11	12
巻	西片 喜章	—	7	82.7	10	28
三 条	酒井 一夫	—	12	51.3	8	32
長 岡	吉野 利夫	清水 洋一	9	65.4	24	95
与 板	吉野 利夫	清水 洋一	3	23.5		
小 千 谷	吉野 利夫	清水 洋一	10	21.0		
魚 沼	小幡 利永	—	2	16.0	4	13
十 日 町	田口 耕平	中町 和男	7	57.0	11	34
南 魚 沼	星野 正昭	—	3	15.1	4	12
柏 崎	赤堀 洋一	関谷 勝広	3	24.0	6	24
上越・上越東	田中 芳	塩崎 一美	9	72.1	16	63
糸 魚 川	田中 芳	塩崎 一美	6	9.7	4	12
佐 渡	佐々木敏和	小鷹 賢正	10	29.7	7	24
計			128	621.3	146	481

都市公園情報モニター実施報告

業 務 部

県では、平成19年度より都市公園を利用する県民の視点を公園管理（指定管理者への指導等）に取り入れるため、「都市公園情報モニター」を募集しておりました。NPOにいがた地域創造センターとしては、平成22年から試行的に行っており、おおむね年4回モニター報告をしています。

■平成24年 都市公園モニター担当者

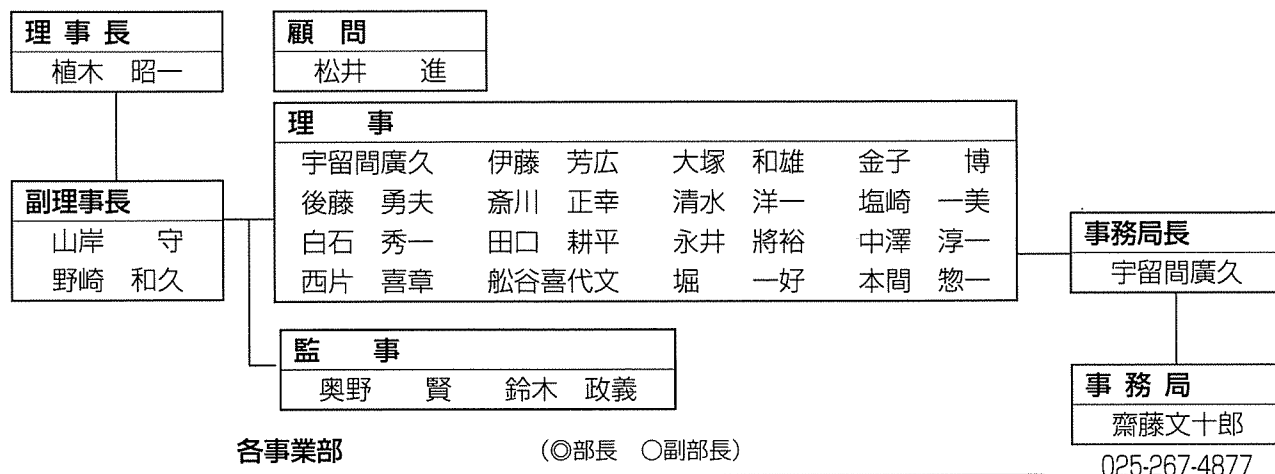
公 園 名	担 当 者	
	主任担当者	補助担当者
紫雲寺記念公園	米野 紀男	中澤 敏雄
聖籠緑地・島見緑地	野崎 和久	船谷喜代文
鳥屋野公園女池・鐘木地区	小野塚真一	中俣 孝
スポーツ公園北地区	植木 昭一	佐藤 成昭
スポーツ公園南地区	上西 健	山岸 守
県立植物園	藤原 俊雄	伊藤 芳広
大潟水と森の公園	田 中 芳	村本 至



当NPO法人の役員は下記のとおり改選されました。(任期2年)

なお、併せて各事業部員は次のとおりとなりました。

◆ 組 織 図 (理事19、監事2)



■ 会員の動向

〈会員数〉

会員区分	設立総会時 H15.6月	平成17年度 H17.11月	平成18年度 H18.11月	平成19年度 H19.11月	平成20年度 H20.11月	平成21年度 H21.11月	平成22年度 H22.12月	平成23年度 H23.12月	平成24年度 H24.12月
正 会 員	164	220	252	275	285	288	295	292	293
賛 助 会 員	個人	—	3	2	2	1	1	1	1
	法人	—	207	205	182	174	163	152	152
計	164	430	459	459	460	452	448	445	446

編集後記

今年は役員の変更が行われました。3代目の島原利昭理事長には、多方面で改革が叫ばれる難しい2年間、当NPO法人の舵取り役として大役を果たされました。とりわけ新たな時代に向かう当法人の進むべき方向を示して頂いたことは、当法人にとって大きな改革であり、感謝しているところです。

これからは植木昭一新理事長のもと、10周年を機に当NPO法人の活動が更に大きなものとなるよう期待します。(Y. S)



特定非営利活動法人(NPO法人)

にいがた地域創造センター

理事長 島原 利昭

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18

(財)新潟県建設技術センター内3階

TEL/FAX (025)267-4877